

2016年4月23日

キャロライン・ケネディ大使閣下

拝啓

5月の伊勢志摩サミットの機会を捉え、オバマ大統領は広島を訪問することを検討されているとの報道に接した時、心から嬉しく思いました。もしこれが実現すれば際立った歴史的出来事となりましょう。これを可能にしたのはオバマ大統領が掲げる人道主義と母性文化であり、それにも劣らない貴大使の貴重な貢献です。このような時期に貴大使が日本に駐在されていることは幸運そのものです。

世界は民事、軍事を問わない真の核廃絶を達成するためにオバマ大統領が更に尽力されることを必要としております。この目標には前提条件が2つあります。地球倫理の確立と現在の父性文明の母性文明への転換です。これまで何度も指摘して来ましたが、国連倫理サミットの開催はその過程の出発点です。オバマ大統領がこの国連サミットに関してイニシアティブをとられることに、私は希望を託し続けております。

世界が直面する危機の真因は倫理、道徳の欠如であることは益々否定出来なくなりました。国連倫理サミットに対する国際的支援は目に見えて強まっております。

私はオバマ大統領が上記のイニシアティブをとられることを切望しております。どうかこの旨貴使から同大統領にお伝え願います。

世界はオバマ大統領の理念を高めた「核兵器も原発もない世界」という新たなヴィジョンを必要としていると確信いたします。

貴使の日本駐在は偶然にも新たな時代の夜明けと重なることになりました。

敬具